

相模原市協働事業提案制度事業（次年度継続事業分）検討結果

事業の名称 団体の名称	令和元年度実施内容 (9月末時点)	市民協働推進審議会 答申		答申を踏まえた市としての 検討結果
		結果	審議会意見(要点)	
NO.1 【H30採択】 市民提案型事業 若年層に向けた金融教育支援事業 (高校生にも分かる契約、金融と奨学金の話) <hr/> ・神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合 ・消費生活総合センター ・こども・若者支援課	奨学金やライフプランをテーマにした講義を高校で実施した。こども・若者支援協議会などで取組を報告し、高校への周知を図った。	継続する 次年度継続することが妥当なもの	<ul style="list-style-type: none"> 金融教育は重要なことであり、団体の専門性と行政の繋がりを生かして事業を実施している点は評価できる。 若年層を対象とする場合には、魅力的なコンテンツの作成が必要なため、実施団体の持つ専門的知識を生かしつつ、デザインや企画に優れた他団体と連携し、コンテンツ・カリキュラムのパッケージ作成を行っていただきたい。 今回の事業が市内全域へと波及し、知識を身に付けるだけではなく、若年層の夢の実現に繋がるようなものになることを期待している。 	継続する 審議会意見に基づいて検討を行い、事業を継続していただきたい。
NO.2 【H30採択】 市民提案型事業 食でつながる子育て相談支援事業 <hr/> ・NPO法人 フーズマイルぐりぐら ・こども家庭課 ・各子育て支援センター	食をテーマにしたイベントを実施し、イベント時に保護者との悩み相談を実施した。相模原市の特産品や名産品などを題材にしたイベント時のプログラム制作を行った。	継続する 次年度継続することが妥当なもの	<ul style="list-style-type: none"> 協働で事業を実施していくためには、連絡を密に取り、役割分担をしながら事業を進めていくことが重要である。 次年度以降、着実な事業運営をしていくためにも、事業の規模を団体の体力に見合ったものにし、実施団体及び担当課で連携しながら事業を進めていただきたい。 団体がイベントを実施する際には、行政からも効果的な情報提供をしていただきたい。 	継続する 審議会意見に基づいて検討を行い、事業を継続していただきたい。
NO.1 【H29採択】 市民提案型事業 津久井里山体験ツアー運営による地域活性化事業 <hr/> ・一般社団法人 藤野観光協会 ・緑区役所区政策課	藤野里山体験ツアーメニューの開発や広報活動を行った。津久井地域に広げていくため、津久井里山体験ツアー運営協議会を立ち上げ、専用ホームページの作成、公開を行った。	継続する 次年度継続することが妥当なもの	<ul style="list-style-type: none"> 運営協議会の立ち上げにより、地域の横のつながりを作れたことは評価できる。 インパクトのある事業のため、さらに広がりが見られることを期待したい。 今後に向けて、市内の中央区、南区からの参加者を増やす取組を検討するとともに、この事業で培ったノウハウを他の事業でも活用し、地域の活性化につなげていただきたい。 	継続する 審議会意見に基づいて検討を行い、事業を継続していただきたい。

事業の名称 団体の名称	令和元年度実施内容 (9月末時点)	市民協働推進審議会 答申		答申を踏まえた市としての 検討結果
		結果	審議会意見(要点)	
NO.4 【H29採択】 <u>行政提案型事業</u> 高尾山からの相模湖・藤野 方面へのハイカー誘客促 進事業 ・相模湖商工会 ・商業観光課	石老山に訪れるハイキ ング客に案内板等の見や すさや分かりにくい道順 についてのヒアリング調 査を行い、ヒアリング結果 に基づいたフィールドワ ークを行った。	<u>継続する</u> 次年度継続すること が妥当なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・担当課が積極的に関わり、道標のデザ イン作成に地域住民や地元企業を巻 き込むなど、単に業者に発注するだけ ではない、地域に対する波及効果が生 じる取組と、それを踏まえた予算の精 査を行っていただきたい。 ・事業報告の際には、設置した場所や個 数の根拠、地域の意向の反映状況等、 フィールドワークの調査結果から得 たものを成果物として示していただ きたい。 	<u>継続する</u> 審議会意見に基づいて検討を行い、 事業を継続していただきたい。
NO.5 【H29採択】 <u>市民提案型事業</u> 市民講座による生涯学習 の推進事業 ・市民講座 まなびのライブ塾 ・生涯学習センター	南区、緑区へ講座開催地 域を拡大するとともに、長 期講座を実施した。講座リ ストを作成し公民館等に 講師を派遣したほか、講座 のサークル化を支援した。	<u>継続する</u> 次年度継続すること が妥当なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・審査会意見を反映し、着実に事業を進 んでいることは評価できる。 ・サークル化を進めることで、学んだこ とを社会に還元できる新しい生涯学 習のモデルとなるため、この取組を更 に広めていただきたい。 ・作成した講座リストを有効に活用でき るよう充実を図り、事業報告会の際に 提示していただきたい。 	<u>継続する</u> 審議会意見に基づいて検討を行い、 事業を継続していただきたい。